消防用水標準仕様書

１．消防用水の水量

　(1)　必要とする消防用水量（　　　　　　　）㎥

　　　Ｑ ＝ 20 ── ＝ 20 × ──────── ＝（　　　　　　　）

Ａ

Ｂ

（　　　　　　 ）

（　　　　　　 ）

　　　Ｑ：消防用水の有効水量の合計（㎥）

　　　Ａ：消防法施行令第27条第1項第1号に揚げる建築物にあっては1階及び2階の部分の床面積の合計，同項第2号に揚げる建築物にあっては延べ面積(㎥)

　　　Ｂ：消防施行令第27条第3項第1号の表に定める面積（㎥）

Ａ

Ｂ

　　　─：1未満のはしたの数は切り上げ，整数値とする。

　(2)　設置する消防用水量（　　　　　　　）㎥

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 設 置 数区　　分 | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| 保有水量 （㎥） |  |  |  |  |  |
|  | 縦　（ｍ） |  |  |  |  |  |
| 横　（㎡） |  |  |  |  |  |
| 水　深（ｍ） |  |  |  |  |  |
| 有効水量 （㎥） |  |  |  |  |  |
| 吸管投入口数 （個） |  |  |  |  |  |
| 採水口数 （個） |  |  |  |  |  |
| １の消防用水までの最遠水平距離 （ｍ） |  |  |  |  |  |

２．採　水　方　式

　□　吸管投入口を設ける。

　　□　吸管投入口の形状は，（□円形　□正方形　□長方形）とし，大きさは，

　　　（□円形にあっては直径（　　　≧0.6）m　□正方形または長方形にあっては

（　　　≧0.6）m×(　　　≧0.6）m）とする。

　　□　吸管を投入する部分の水深は（　　　≧0.5）mとし，その部分の広さは

（□円形にあっては直径（　　　≧1.0）ｍ　□正方形又は長方形にあっては

（　　　≧1.0）ｍ×(　　　≧1.0）mとする。

　□　採水口を設ける。

　　□　採水口は単口形とする。

　　□　採水口の結合金具は，ねじ式とし，呼称100のおねじとする。

　　□　採水口に接続する配管は，内径（　　　≧100）㎜とし，その横引部分の管長は（　　　≦20）mとする。

　　□　採水口は，地盤面からの高さが（0.5≦　　　≦1.0）mの位置に設ける。

　　□　採水口には，「 採　水　口　 と表示した標識を設ける。

（消防隊専用）」

３．添　付　図　書

　　□　付近見取図　　　　□　建築物の配置図　　　　□　平面図

　　□　立面図　　　　□　断面図　　　　□　防火水槽詳細図

　　□　防火水槽配置図　　　　□　機器構造図　　　　□　防火水槽構造図

　　□　防火水槽構造計算書　　□　標識板詳細図

４．その他

　(1)　工事中において，設計書と異なる工事をしようとする場合は，工事管理者及び所轄消防署の指示を受けて行うものとする。

　(2)　工事竣工後，消防職員立会いのうえ，所要の試験及び検査を受けるものとする。

　　　なお，完成検査時，検査の困難な部分については，あらかじめ，所轄消防署と連絡をとり中間検査を受けるものとする。